


ICTを活用した授業実践事例

学校名		淡路市立一宮学校		実践日		平成29年6月13日（火）	
研究内容		(2) ICTの特性や強みを生かした「主体的・対話的で深い学び」の実践					
		学年	1年		教科等		総合的な学習の時間
		単元名	校外学習の思い出をまとめよう				
		ICTを活用した学習活動の説明	校外学習の思い出をKeynoteを用いてまとめる。				
		主なICT活用のねらい	<input type="checkbox"/> 課題の提示		<input type="checkbox"/> 動機付け		
			<input type="checkbox"/> 教員の説明資料		<input type="checkbox"/> 学習者の説明資料		
			<input type="checkbox"/> 繰返しによる定着		<input checked="" type="checkbox"/> 体験の想起		
			<input type="checkbox"/> モデルの提示		<input type="checkbox"/> 失敗例の提示		
			<input type="checkbox"/> 比較		<input type="checkbox"/> 体験の代行		
			<input checked="" type="checkbox"/> 振り返り		<input type="checkbox"/> その他（ ）		
		活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習		<input checked="" type="checkbox"/> 個別学習		<input type="checkbox"/> 協働学習
活用場面	<input type="checkbox"/> 導入		<input checked="" type="checkbox"/> 展開		<input type="checkbox"/> まとめ		
完成した感想用紙を掲示している様子							

○成果（効果）等

教員	○感想を学年通信等に引用・共有しやすい。 ○印刷して掲示しやすく、生徒間での感想の共有もさせやすい。 ○感想の共有から「こんなこともあったのか！」等の意見が聞けた。
児童生徒	○文章の推敲、編集が容易なこと。 ○写真をGooglePhotoから共有でき、より具体的な感想文を書ける。


ICTを活用した授業実践事例

学校名		淡路市立一宮中学校		実践日		平成29年5月18日（木）			
研究内容		(2) ICTの特性や強みを生かした「主体的・対話的で深い学び」の実践							
		学年		3年		教科等		総合的な学習の時間	
		単元名		民泊先で淡路・一宮を紹介しよう					
		ICTを活用した学習活動の説明		keynoteの共同編集機能を使ってグループで作成したものを、修学旅行の民泊先でお世話になる家庭の人を相手にプレゼンテーションを行う。					
		主なICT活用のねらい		<input type="checkbox"/> 課題の提示		<input type="checkbox"/> 動機付け			
				<input type="checkbox"/> 教員の説明資料		<input checked="" type="checkbox"/> 学習者の説明資料			
				<input type="checkbox"/> 繰返しによる定着		<input type="checkbox"/> 体験の想起			
				<input type="checkbox"/> モデルの提示		<input type="checkbox"/> 失敗例の提示			
				<input type="checkbox"/> 比較		<input type="checkbox"/> 体験の代行			
				<input type="checkbox"/> 振り返り		<input type="checkbox"/> その他（ ）			
		活用形態		<input type="checkbox"/> 一斉学習		<input type="checkbox"/> 個別学習		<input checked="" type="checkbox"/> 協働学習	
活用場面		<input type="checkbox"/> 導入		<input type="checkbox"/> 展開		<input checked="" type="checkbox"/> まとめ			
keynoteによる共同編集作業									

○成果（効果）等

教員	○グループに1台タブレット端末を修学旅行へ持って行き、民泊先でプレゼンをさせた。普段生徒同士でプレゼンしているが、知らない人に対してできるかの実験の意味も込めてさせた。成果はプレゼンをきっかけによく話すようになるなどコミュニケーションツールとしての役割を果たした。
児童生徒	○自分のタブレット端末で共通したファイルをこまめに編集することが出来た。生徒にとっては大人に対して行う初めてのプレゼンであったが、「民泊先の人に喜んでもらえて嬉しかった。」「改めて淡路の良さを知ることが出来た。」というような感想があり、前向きにとらえられた。

I C Tを活用した授業実践事例

学校名	姫路市立東光中学校			実践日	平成30年1月26日（金）		
研究内容	(3) 児童生徒の情報活用能力を育成する授業実践			学年	2年	教科等	総合的な学習の時間
				単元名	SNSの使い方を考えよう		
	I C Tを活用した学習活動の説明			SNSを使う上での注意点を、班で相談しながらタブレット端末に書き込む。			
	主なI C T活用のねらい	■ 課題の提示		■ 動機付け			
		■ 教員の説明資料		□ 学習者の説明資料			
		□ 繰返しによる定着		□ 体験の想起			
		■ モデルの提示		□ 失敗例の提示			
		□ 比較		■ 体験の代行			
■ 振り返り		□ その他（ ）					
活用形態			■ 一斉学習		□ 個別学習	■ 協働学習	
活用場面			■ 導入		■ 展開	■ まとめ	
相談しながらタブレットに要点を書きこむ							

○成果（効果）等

教員	○ネットモラルの学習として、まず動画（アニメ）を見せることで状況を簡単に把握させることができた。また、SNSを扱う際、どんな危険が潜んでいるかを体験的に考えさせることができた。
児童生徒	○タブレット端末を用いて、動画の場面ごとにどのような問題があるのかをグループで話し合うことができ、SNS上での軽率な発言が、大きなトラブルに結びつく可能性があることが理解できた。また、最後にタブレット端末を用いてネットモラル検定を実施することにより、本時の振り返りができた。